



2015年12月9日

各 位

会 社 名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話 番 号 03-3525-4707

米国ブリストル・マイヤーズスクイブ社とのライセンス契約締結について

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮下三朝、以下「杏林製薬」）と米国ブリストル・マイヤーズスクイブ社（本社：米国ニューヨーク州、Chief Executive Officer：Giovanni Caforio）は、杏林製薬が創製した「FPR2作動薬[※]プログラム」に関するライセンス契約をこの度、締結いたしました。

本契約に基づき、杏林製薬はブリストル・マイヤーズスクイブ社に対し、全世界での独占的な権利（開発権、製造権及び販売権）を供与し、ブリストル・マイヤーズスクイブ社より契約一時金（35百万米ドル）及び、開発から承認までの進展に応じたマイルストーンペイメント（最大で370百万米ドル）、売上に対する一定率のロイヤリティ及び販売マイルストーンを受け取ります。なお、杏林製薬は日本における共同開発及び共同販売の権利を留保しています。

ブリストル・マイヤーズスクイブ社は、本プログラムの対象とする適応症（非開示）において、杏林製薬が創製した有望な新薬候補化合物の開発を進め、早期の上市を目指します。

杏林製薬は、自社創製化合物のスピーディーなグローバル開発による価値最大化と医療ニーズに合致したオリジナル新薬創製による世界の人々の健康への早期貢献を期待しています。

なお、契約一時金35百万米ドルは当期（2016年3月期）に計上する予定ですが、当期の連結業績への影響につきましては、確定し次第お知らせいたします。

以 上

※ Formyl peptide receptorの略、Gタンパク質共役型受容体。 FPR2作動薬は主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す。

参考資料

◆ブリストル・マイヤーズスクイブ社について

設 立：1858年

代 表 者：Chief Executive Officer Giovanni Caforio, M.D.

売 上 高：159億米ドル（2014年度）

従 業 員：約25,000人（2014年度末日現在）

概 要：ブリストル・マイヤーズスクイブ社は、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバルなバイオフーマ製薬企業です。詳細については、www.bms.com <米国本社のウェブサイト（英語）>またはツイッター（<http://twitter.com/bmsnews>）をご覧ください。

◆杏林製薬株式会社について

設 立：1923年12月

代 表 者：代表取締役社長 宮下三朝

売 上 高：98,452百万円（2014年度）

従 業 員：1,771人（2014年度末日現在）

概 要：患者さんや医療に携わる方々から信頼され、社会に存在意義を認められる健康貢献企業を目指して、特定領域におけるプレゼンスの向上とグローバルな自社新薬の創製に取り組んでいます。営業においては呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科を中心とするユーザーに重点化するFC（フランチャイズ・カスタマー）戦略を展開し、自社創薬においては呼吸器・耳鼻科・泌尿器を重点領域としています。